

大型フォークリフト FD150-240 のモデルチェンジ

-環境負荷低減、安全性向上、作業性向上-

Update of Large Forklift Truck FD150-240

-Reduction of Environment Load, Reduction of Risk, Improvement of Working Efficiency-



汎用機・特車事業本部

物流機器部 物流車両課

☎(042)761-1656

近年では、大型フォークリフトも、小型フォークリフトや乗用車と同様、環境・安全・作業性への配慮が求められている。この度、大型フォークリフト FD150-240 のモデルチェンジを行い、排出ガス規制適合や燃費向上などの環境負荷低減に加え、オペレータの安全性や作業性を向上した。

1. 主要改良点

1.1 環境負荷低減

- (1) エンジンに、三菱ふそうトラック・バス(株)製 6M60 を採用した。このエンジンには、従来の空冷インタークーラや電子制御に加え、燃料噴射圧力と噴射タイミングのコントロールを容易に可能とする高圧コモンレール噴射システム、排出ガス再循環システム(EGR)に水冷式クーラを追加することにより、更に NOx の低減を可能にしたクールド EGR、プローバイガスの大気開放を防止するプローバイガス吸気循環システム(PCV)などが搭載されている。これにより、エンジン高出力とクリーン排出ガスを実現し、特殊自動車(オンロード車)/特定特殊自動車(オフロード車)の排出ガス基準に適合した(図1)。
- (2) ステアリング機構のロードセンシング化などの油圧システム効率向上により、エンジン負荷馬力抑制と作業機性能向上を両立し、エンジン排気量の大幅低減(11.945L→7.545L)と燃費向上を実現した(図2)。

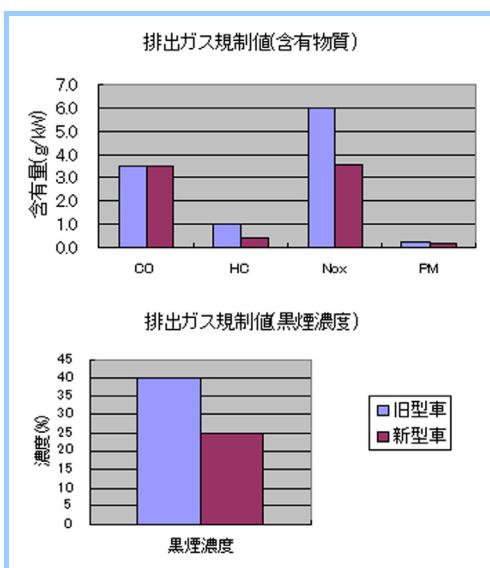


図1 排出ガス規制

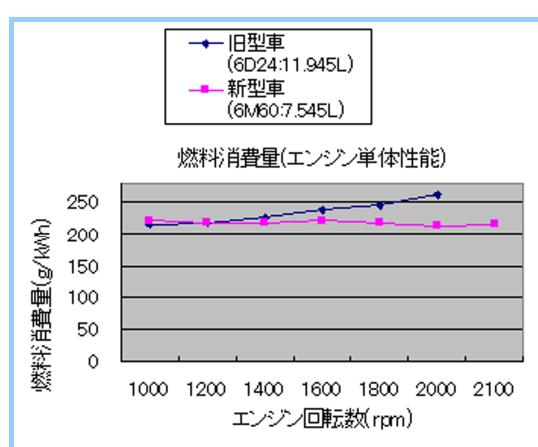


図2 燃料消費量

1.2 安全性向上

- (1) 小型フォークリフトで実績のあるマスト・走行インターロック、リフトロック、ニュートラルセーフティ、故障診断などを採用し、大型フォークリフトの安全性が向上した。
- (2) マスト、アタッチメントの形状を改良し、前方視界、爪先視界を改善した(図3)。

1.3 作業性向上

- (1) リフト速度を向上させ、荷役作業性が向上した(図4)。
- (2) ステアリング操舵力、荷役レバー操作力を低減し、オペレータの疲労を軽減した(図5)。
- (3) マスト高さを4100mmから3750mmに350mm低くし、屋内での作業性が向上した。

